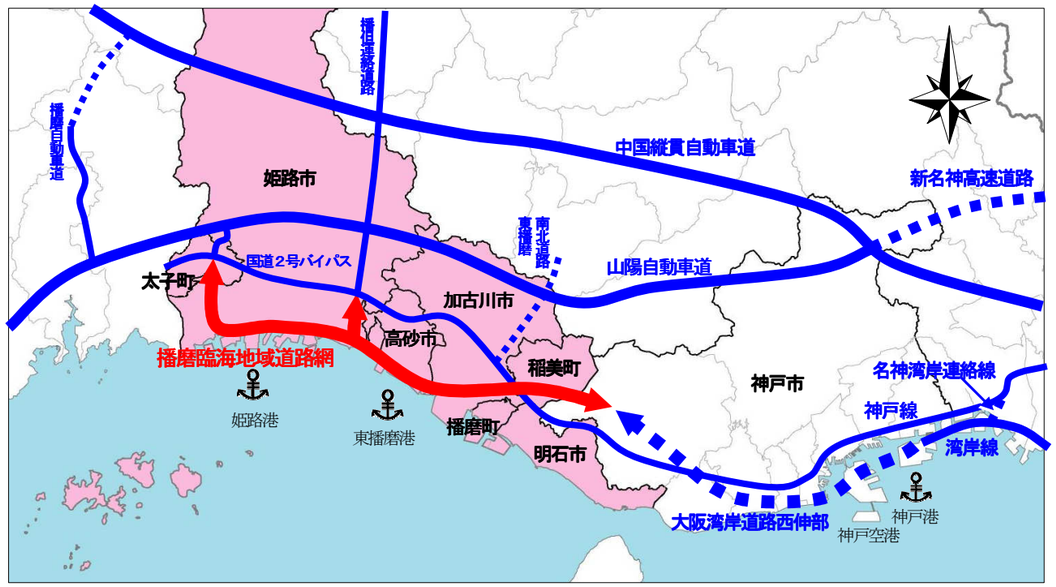
播磨臨海地域道路網　位置図



平成２７年９月１０日、国会議員促進連盟 設立！

本道路の整備を促進するため、兵庫県関係の国会議員２０名の先生方により播磨臨海地域道路整備促進国会議員連盟が設立されました。

播磨臨海地域道路整備促進国会議員連盟　２０名

【最高顧問】	鴻池祥肇	参議院議員	【会　　長】	渡海紀三朗	衆議院議員
【副 会 長】	松本剛明	衆議院議員	【事務局長】	末松信介	参議院議員
【副 会 長】	濱村　進	衆議院議員	【事務局次長】	丸山和也	参議院議員
【副 会 長】	清水貴之	参議院議員			

要　望　書

「はりまの成長なくして日本の成長なし」

播磨臨海地域道路網の早期実現を！

渋滞が慢性化する国道２号バイパス

播磨臨海地域の高度ものづくり拠点

平成２７年３月　グランドオープン
世界文化遺産・国宝　姫路城

播磨の玄関口・姫路駅前広場

播磨臨海地域道路網協議会

姫路市・加古川市・明石市・高砂市・播磨町・稲美町・太子町

播磨臨海地域道路網の早期実現を！

播磨臨海地域は、日本を代表する多様な企業の基幹工場が集積し、多くのトップシェア製品を生み出している世界有数のものづくり拠点です。製造品出荷額は約５兆９千億円（平成２６年）を誇り、企業の設備投資はここ７年間で約２兆円にもなり、他の大都市を遥かに凌いでいます。

東西交通の要である国道２号は、高度経済成長期の生産量増大に伴う輸送能力増強のため、昭和３５年より順次、加古川、姫路、太子竜野バイパスが整備、供用され、沿線地域では企業立地や宅地化が進展、現在では事業着手当時と比較して、製造品出荷額が２２倍、人口が１.８倍に増加するなど、道路整備による絶大な「経済ストック効果」を発揮してきました。

一方で、地域の交通量は９倍に増加、特に国道２号バイパスの交通量は約１０万台から１２万台と交通容量の約２倍となっています。このため慢性的な渋滞を引き起こし、物流機能が阻害され成長が頭打ちとなっています。

播磨臨海地域道路網は、こうした現状を劇的に改善し、当地域にさらなる企業立地や設備投資を促し、安定した雇用の創出、生産性の向上などストック効果の最大化を実現するものであり、将来にわたり当地域の自立・持続的発展に寄与します。

「はりまの成長なくして日本の成長なし」、日本の新たな創造と成長は、ここ播磨から始まるといっても過言ではなく、播磨の地域創生こそが日本の経済成長を力強く牽引するものと確信しています。

つきましては、次の事項について、特段のご配慮を賜りますよう強く要望いたします。

＜要 望＞

一 播磨臨海地域道路網の優先区間を速やかに決定し、本年度中に計画段階評価に着手すること

一 社会資本の整備・保全、防災・減災機能の強化を進め、経済ストック効果を最大限に高める事ができるよう、必要な公共事業費予算を確保すること。

平成２７年１２月

播磨臨海地域道路網協議会

会　長	姫路市長	石　見　利　勝
副会長	加古川市長	岡　田　康　裕
監　事	高砂市長	登　　幸　人
監　事	太子町長	北　川　嘉　明
理　事	明石市長	泉　　房　穂
理　事	稲美町長	古　谷　　博
理　事	播磨町長	清　水　ひろ子